授業科目名・形態	基礎助産学　　講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	工藤　優子	実務経験の有無	有	開講期	3年後期
科目ナンバリング	N5-3018m				

【授業の主題】

ライフサイクル各期における女性及び妊産褥婦を理解するために、必要な女性生殖器の構造と機能について深く学ぶ。生殖器に関連した病態生理、疾患、検査、治療について学び、思春期から老年期までの女性の健康問題に対するケアや支援をするために必要な知識を学ぶ。また、周産期の異常と検査・治療・処置についても学ぶ。

【到達目標】

1. 女性および男性の生殖器の構造と機能について基礎的な知識の理解を深める。
2. 妊娠の成立・維持の機序と母体の身体的変化について理解を深める。
3. ライフサイクル各期における健康問題とケア・支援について理解できる。
4. 周産期の異常・治療・検査について学ぶ。

【授業計画・内容】

第 1 回	母性の身体的特徴	(工藤)
第 2 回	妊娠の成立と母体の身体変化	(工藤)
第 3 回	不妊症治療と生殖補助医療	(工藤)
第 4 回	不妊症治療の問題点と不妊症夫婦への支援	(工藤)
第 5 回	出生前診断と遺伝カウンセリング	(工藤)
第 6 回	周産期の異常と妊産婦・家族への支援①	(工藤)
第 7 回	周産期の異常と妊産婦・家族への支援②	(工藤)
第 8 回	ライフサイクル各期における健康問題と支援　①	(工藤)
第 9 回	ライフサイクル各期における健康問題と支援　②	(工藤)
第 10 回	ライフサイクル各期における健康問題と支援　③	(工藤)
第 11 回	周産期の異常①（妊娠期・分娩期）	(　)
第 12 回	周産期の異常②（産褥期・新生児期）	(　)
第 13 回	麻酔・薬剤・産科手術・器具	(　)
第 14 回	産科救急（出血・ショック）	(　)
第 15 回	周産期における超音波診断法	(　)

【授業実施方法】

基本的に講義形式で行う

【事前・事後学習】

講義内容に関する事前学習を毎回 2 時間以上行うこと。
講義内容を踏まえ、復習を毎回 2 時間以上行うこと。

【主な関連する科目】

助産診断・技術学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、女性の健康支援

【教科書等】

我部山キヨ子・武谷雄二：助産学講座 2　基礎助産学[2]母子の基礎医学、医学書院
我部山キヨ子・武谷雄二：助産学講座 6　助産診断・技術学[1]Ⅱ妊娠期、医学書院
我部山キヨ子・武谷雄二：助産学講座 7 助産診断・技術学[2]Ⅱ分娩期・産褥期、医学書院

【参考文献】

適宜提示する

【成績評価方法】

筆記試験 100%

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

実務経験あり。
助産師としての実務経験を踏まえ、事例などを提示し、講義内容の理解が深まるように工夫している。

【学生へのメッセージ】

授業を理解するため予習・復習は必須です。理解できなかった箇所は明確にして、調べる、教員に質問するなどして整理し、自身の言葉で説明できるように理解を深めましょう。